

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL206
講義科目名	映画・ドラマに見られる日本文化と日本語
開講年度	2025-2026
開講学期	前期（春夏学期）
曜日時限	木曜 5 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	大神智春
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	<p>映画やドラマの中の世界は現実と虚構・創作が混じり合っている。描き出されている現実はその時代の言語や社会・価値観が再現されたものである。また、虚構・創作といってもその虚構・創作が作られる背景にはその国の文化や価値観、時代が影響していることが多い。</p> <p>この授業では個々の映画やドラマではどのような表現が特徴的に用いられているか確認するとともに、どのような文化や価値観、社会観が背景としてあるのかを考察する。そして授業で扱う作品全体を通してとらえることができる日本語や日本文化・社会について自分なりの考えを深める。視聴対象とする作品は戦後～現代の社会を扱ったもので、ある程度日本でヒットしたものとする。</p>
授業形態	<p>2025 年度前期は 5 本の映画を視聴する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 本の映画を前半後半に分けて鑑賞。事前に見る映画についてのレクチャーを行う。 クラスで同じ映画を一緒に視聴し、お互い感じ方が共通する部分、各自感じ方が異なる部分などを知る。 映画視聴後、あらすじと表現をクラスで確認する。学生は宿題として感想シートを提出する。提出されたシートの内容をもとに、疑問点や考え方の違いについてクラスで話し合う。 4 本の映画の発表者を決め、映画を見た次の授業で、①印象に残った表現、②映画から見ることのできる日本文化や日本社会の 2 点をまとめて発表しクラスで討論する。その後、その映画のまとめシートを提出する。
履修に関わる注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 担当映画についての発表は必須とする。 欠席して映画が見られなかった場合は、自分でその映画を見て、次の授業に参加すること。 提出物は、必ず提出すること。
授業計画	<p>第 1 回 オリエンテーション 今期見る映画の紹介。担当映画を決める。</p> <p>第 2 回 映画①「ALWAYS 3 丁目の夕日」前半</p> <p>第 3 回 映画①「ALWAYS 3 丁目の夕日」後半</p> <p>第 4 回 ①グループ発表、クラス討論</p> <p>第 5 回 映画②「風の谷のナウシカ」前半</p> <p>第 6 回 映画②「風の谷のナウシカ」後半</p> <p>第 7 回 ②グループ発表、クラス討論</p>

	<p>第8回 映画③「フラ・ガール」前半 第9回 映画③「フラ・ガール」後半 第10回 ③グループ発表、クラス討論 第11回 映画④「おくりびと」前半 第12回 映画④「おくりびと」後半 第13回 ④グループ発表、クラス討論 第14回 映画⑤ 「マイスモールランド」前半 第15回 映画⑤ 「マイスモールランド」後半、最終レポート準備 *視聴映画は変更になることもあります。</p>
テキスト	プリント配布
成績評価	<p>最終レポート（「マイ・スモールランド」について） 30% 各映画の感想シート・ミニレポート 30% 発表 20% 授業態度 20%</p>
学習相談	グループ発表の前の授業後にアドバイスをする。その他の相談はリクエストに応じて対応する。